

障 第10回菊川市障害者フライングディスク交流大会 がいを越えて広がる交流の輪



1～5 真剣な表情でディスクを投げる参加者

8月27日、市民総合体育館で第10回菊川市障害者フライングディスク交流大会が開催されました。障がいがある人の体力増強や、障がいの分野を越えて親睦を図ることを目的に開催される恒例イベント。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で3年ぶりに行われました。

市内に住むさまざまな障がいがある人たちや、ボランティアなどおよそ60人が参加し、輪の中心目がけてディスクを投げました。ディスクが通過すると仲間たちから歓声や拍手が起こり、会場は盛り上がりました。互いに歓びを分かち合ったり、投げるときの姿勢や投げ方のコツなどを教え合ったりと、久しぶりの交流を楽しみました。

ス 静岡ブルーレヴズ(株)とパートナー協定締結 スポーツを通じた地域活性化

8月9日、市役所東館プラザきくろで、プロラグビーチームを運営する静岡ブルーレヴズ株式会社とのパートナー協定締結式が行われました。「双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、スポーツを通じた地域活性化を図ること」が目的。市がプロスポーツチームと連携協定を締結するのは今回が初めてです。今後は「スポーツを通じた地域の活性化」の実現に向け、市内小学校でのラグビー教室などを開催し、ラグビーやスポーツの面白さを伝える活動を展開します。



▲山谷拓志代表取締役社長(右)と長谷川寛彦市長(左)

子 菊川市子ども議会 子どもの意見をまちづくりに

7月28日、菊川市子ども議会が開催されました。菊川市の将来を担う子どもたちに、議会や市政について関心を持ってもらうことや、子どもから自由な意見や提言を聞き、まちづくりの参考とすることが目的の恒例行事。今年度は3年ぶりの開催となりました。市内9小学校と牧之原小学校の6年生代表児童18人が、子ども議員として、長谷川寛彦市長や松本嘉男教育長、市議会議員の前で、一人ひとりがこれからの菊川市について意見や提言を行いました。



1 実際の議会上に登壇 2 緊張した面持ちで意見を発表する